

池袋に惚れ込んだ人たちが、地域の活性化や街づくりを熱く語る。今回は北大塚の工房アーティストの主宰であり、自身も造形作家として活動されている鮫島貴子さん。どこか懐かしい雰囲気漂う工房での対談となった。

**小山**…こちらではどういったものを作られていますか？

**鮫島**…私は金属工芸の中でも「鍛金（たんきん）」という技法を主としてしまして、コンセプトリアルな作品や、お店や住宅向けの特注オブジェなどを作っています。

**小山**…作品を拝見しましたが、独特の味がありますよね。建物にワンポイントで取り入れるだけで、芸術・文化の香りを感じます。こういうものももっと増えていったら、それだけで街が彩り豊かになると思うんですが…。大塚に来られたのはいつ頃ですか？

## 「ものづくりはコミュニケーショントール」

**鮫島**…もう18年ぐらい前ですね。大塚は何となく下町情緒があるというか、のんびりしたところが好きですね。

**小山**…ここでは教室もやられてますよね。どういった目的で開かれたんですか？

**鮫島**…今の人って、手を動かすことがどんどんなくなっているように感じるんです。

**小山**…それは私も感じますね。  
**鮫島**…人間の手の可能性を皆さんに再認識してほしいという気持ちもあって、教室をやっています。楽しいですよ、もの



を作るのは。

**小山**…この工房は本当に別世界ですよ、すごいなあ。

**鮫島**…こういう工房を都心でやっているということに興味

があると思うんです。郊外だったら、個人で作業場を持つこともできませんし、ようし、大きな音も出

しやすいですよ。  
**小山**…確かに。

**鮫島**…会社帰りに工房に来れますし、手を動かす機会の少ない、時間に追われる都市生活者にもっと気軽にものづくりに触れてもらいたいです。また、鍛金という技法自体が継承されにくくなっているんで、何とか次の世代につなげていきたいという気持ちもあります。

**小山**…私も、入居者の方やそのご友人たちと一緒に、部屋の飾りとかを自分たちで作るといイベントを、2ヶ月に1回開いているんです。皆で作ったり描いたりして、ご飯食べ



鮫島 貴子さん

今回のゲスト 鮫島 貴子さん

アーティスト主宰。1995年に大塚に工房を開業。造形作家として、主に鍛金・彫金の技法を主にした造形を行い、作品制作のほか、注文オブジェ制作、また工房においてものづくり教室も開いている。豊島区北大塚2-16-4 ☎03-3576-9534 <http://atelier-artis.com/>



**鮫島**…あー、いいですね(笑)。やっぱりコミュニケーションのツールだと思っんです、ものづくりは。自分でものを表現し、それを見た人が色々感じる。そういうことって必要だと思っんです。皆さんの反応はどうですか？

**小山**…若い人ほど「こういう場があまりないので楽しかった」と言われます。

**鮫島**…今の若い世代は特に地域のコミュニティとの関わりが薄い印象がありますね。

**小山**…そういう機会はほとんどないみたいですね。イベントに友達と一緒に参加して、楽しくてまた別の友達を連れてくる。そういう流れが生まれてますね。人は1人じゃ生きていけません。だから人と人をつなげるものが必要で、すし、鮫島さんも仰られたように、ものづくりってそのひ

とつなんじゃないかと思っますね。

## 俯瞰したものの見方 外から日本を見る重要性

**小山**…鮫島さんの作品には俯瞰して見るものもありますけど、こういうものの見方って昔から持っていたんですか？

**鮫島**…26歳ぐらいの時、ずっと思い続けていたパリ暮らしを決断したんです。そこでの経験が大きかったですね。

**小山**…そうですね。

**鮫島**…パリには移民とか色々な人がいるので、自分が日本人だと強く意識しつつ客観的というか、少し離れたところから物事を考えるようになってると思っます。

**小山**…当時のフランスでの日本人の扱いはどうでした？

**鮫島**…まあ結構意地悪もさされましたね。

**小山**…私もアメリカに留学していたんですが、差別用語を言われたこともありまっすね(苦笑)。でもアメリカでは、色んな考え方を持った人たちと一緒に生活できて、いい経験になったとは思っています。

**鮫島**…若い時期に、外から日本を見ることは必要だと思っますね。

**小山**…そうですね。私自身、特に親に対する感謝の気持ちはずごく強くなりましたし、日本のことを知らなさ過ぎたと痛感しましたね。

**鮫島**…地域のコミュニティの話に戻りますが、色んな人の立場でものを考えられるようにしないと、より良い社会にならないと思っんです。お年寄りや子供の立場とか。

**小山**…仰る通りですね。

**鮫島**…私も地域に貢献したいです。せっかく、今この時代の



小山 浩志 さん

この時期を、同じ地域で過ごしているんですから。

**小山**…地域で生まれたものは地域で大切に活かすという考えが大事だと思っんですね。ものにしても人にしても。地域の芸術・文化についてはどうお考えですか？

**鮫島**…芸術や文化って敷居が高い印象がありますが、思っていることを素直に表現するのが芸術だと思っますし、そこに強い意志があるかどうかが大切だと思っます。もちろん専門家のサポートも大切ですが、技術は後からついてくるものなので。伝えたいというその思いは、いつか具現化され、次の世代へ受け継がれていくと思っます。

# 強い意志は具現化され受け継がれる

聞き手 小山 浩志 さん

株式会社パワープロパティ代表取締役社長。池袋駅西口に店舗を構え20年。使命は、「不動産を通して芸術・文化の街“池袋”を支える」こと。豊島区池袋2-53-13 ルート池袋第2ビル9F ☎03-3985-3950 <http://www.power-pro.co.jp/>